

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	国語	科目	国語総合A	学年	第1学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	精選 国語総合 現代文編 改訂版 (筑摩書房)				
副教材	「上級入試漢字」(桐原書店) 「ちくま評論入門 改訂版」(筑摩書房) 「日本文学史必携」(第一学習社) 「最新国語便覧」(浜島書店)						

学習目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
------	--

	単元	主な単元の目標	教材	評価の観点					定期考査
				①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月 評論とは何か	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	評論 一 バラは暗闇でも赤いか?	○			◎	○	第1回
	5月 小説を読もう	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	小説 一 羅生門	○			◎	○	
	比べ読みをしよう	・目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。	今昔物語集巻二十九第十八	○	◎			○	
	6月 論理的思考力を養おう	・文章の内容を必要に応じて要約している。	評論 二 ことばとは何か (わたし)のいる場所	○			◎	○	
	論理的な文章を書いてみよう	・話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	表現編 2 ことばから文章へ	○	◎			○	
	7月 詩に親しむ	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	詩歌 二十億光年の孤独 小景異情	○			◎	○	
	詩について語ろう	・話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	表現編 1 ことばを發する	○	◎			○	
2 学 期	8月 登場人物の心情に迫る	・幅広く本や文章を読み、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	小説 二 棒 待ち伏せ	○			◎	○	第2回
	9月 作者について語ろう	・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合っている。	表現編 3 調べてまとめる	○	◎			○	
	筆者の考えに迫る	・文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	随想 小母さん 結ばれていく時間	○			◎	○	
	10月 筆者の論旨に迫る	・文章の内容を必要に応じて要約や詳述をしたりしている。	評論 三 魔術化する科学技術	○			◎	○	
	日本文学の伝統に親しもう	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	詩歌 短歌 俳句	○			◎	○	
	11月 歌論・俳論を書こう	・相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書いている。	表現編 2 ことばから文章へ	○		◎		○	
	日本社会に学ぶ	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしている。	評論 四 エクソフォニー	○			◎	○	
	12月 世界の中の日本	・文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	評論 四 感性の考古学	○			◎	○	
レポートしよう	・論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	表現編 3 調べてまとめる	○		◎		○		
3 学 期	1月 文学的な表現に迫る	・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりしている。	小説 三 夢十夜	○			◎	○	第4回
	文学表現の世界	・対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	表現編 6 文学表現の世界	○		◎		○	
	多角的に物事をみつめよう	・幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりしている。	評論 六 マルジャナーナの知恵	○			◎	○	
	3月 小論文を書こう	・優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	表現編 3 調べてまとめる	○		◎		○	

学習の方法	授業では、知識・理解を深めるだけでなく、「話す」・「聞く」・「書く」・「読む」能力を総合的に身に付けていくために、個々の自主的な発表の機会を多くとります。教材によってはグループ学習を実施し、発表することもあります。また、評論教材では要約を実施し、自分でまとめる力を身に付けていきます。さらに、評論については、サブテキストを活用し、高度な読解力を養っていきます。年4回の定期考査や漢字小テストを利用して、基礎学力を定着させていきます。
-------	--

評価の仕方	定期考査に加え、提出物(読書感想文、課題、ノート、学習プリント等)、小テスト(漢字テスト等)の成績などを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、読解力、話す・聞く能力、語彙力、理解力などを総合的に評価します。
-------	--

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 話す・聞く能力 ③ 書く能力 ④ 読む能力 ⑤ 知識・理解 (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	国語	科目	国語総合B	学年	第1学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	精選 国語総合 古典編 改訂版 (筑摩書房)				
副教材	「新明説総合古典文法」(尚文出版) 「必携新明説漢文」(尚文出版) 「最新国語便覧」(浜島書店)						

学習目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
------	--

	単元	主な単元の目標	教材	評価の観点					定期考査
				①	②	③	④	⑤	
1 学期	4月 古文に親しむ	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	古文入門 宇治拾遺物語 児のそら寝 絵伝師良秀	○			○	◎	第1回
	5月 漢文に親しむ	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	漢文入門 訓読のきまり 故事成語 借虎威 嬰逆鱗 朝三暮四	○			○	◎	
	6月 随筆を読もう1	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えている。	徒然草 丹波に出雲といふ所あり 名を聞くより 花は盛りに	○			◎	○	
	6月 物語を読もう1	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	物語 竹取物語 かぐや姫誕生 伊勢物語 芥川 東下り 筒井筒	○			◎	○	
	7月 古典とは何か	話したり聞いたり話し合ったりすることの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	古典の森	○	◎			○	
2 学期	8月 漢詩を読もう	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	春暁 江雪 涼州詩	○			◎	○	第2回
	9月 史伝を読もう	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしている。	十八史略	○			◎	○	
	外国文学に親しむ	論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	漢文の森	○		◎		○	
	10月 日記を読もう	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えている。	土佐日記 門出 帰京	○			◎	○	
	物語を読もう2	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	平家物語 木曾の最期	○			◎	○	
	11月 古典文学を評論する	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	転換期の文学	○		◎		○	
	12月 漢文を読もう	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	雑説 売油翁	○			◎	○	
	俳諧に親しむ	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えている。	奥の細道 序 白河の関 平泉	○			◎	○	
3 学期	1月 中国思想に学ぶ	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	論語 孟子	○			○	◎	第4回
	2月 随筆を読もう2	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	玉勝間 風俗文選	○			◎	○	
	3月 和歌に親しむ	優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行った上で、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	○		◎		○	

学習の方法 授業では、教材を深く読み込み、内容を的確に理解していきます。教材によっては、調べ学習や発表、スピーチを行います。また、グループ学習を行い、周りの人と話し合う機会を多く設けます。家庭での予習は欠かせません。予習で生じた疑問点を授業で解決し、どこが重要な点かをはっきりつかみましよう。年4回の定期考査や小テストを利用して、基礎学力を定着させていきます。

評価の仕方 定期考査に加え、提出物(課題、ノート、学習プリント等)、小テストの成績などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、読解力・理解力・聞く能力・表現力などを総合的に評価します。

評価の観点 ① 関心・意欲・態度 ② 話す・聞く能力 ③ 書く能力 ④ 読む能力 ⑤ 知識・理解
(評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	第1学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	改訂版高等学校現代社会（数研出版）				
副教材	フォーラム現代社会2019（とうほう）						

学習目標	広い視野に立って、現代社会と人間について理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断できるようになる。人間としてのあり方や生き方について考える能力を養い、良識ある社会人として必要な能力と態度を身につける。
------	--

		学習計画及び内容	評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	第1編 現代の社会と人間 第1章 私たちの生きる社会	◎		○			第1回
	5月	第2章 青年期の自己形成		◎		○		
	6月	第3編 現代の経済 第1章 現代の経済社会と経済活動のあり方			○	◎		
	7月			◎	○			
2 学 期	8月	第2章 日本経済の進展と私たちの生活		○		◎		第2回
	9月				○	◎		
	10月	第2編 現代の政治と法 第1章 個人の尊重と法の支配			○	◎		第3回
	11月			○	◎			
12月	第2章 現代の民主政治と政治参加の意義			○	◎			
3 学 期	1月	第3章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	○	◎				第4回
	2月	第3編 現代の経済 第3章 国際経済の動向と日本の果たすべき役割			◎	○		
	3月	第4編 とともに生きる社会をめざして	◎	○				

学習の方法	教科書、図説、プリント等を活用して、現代社会の状況や問題点等を学習していきます。予習は当然のことですが、特に復習に力を入れましょう。（例：教科書を読む→問題集を解く→もう一度教科書を読み、解けなかった内容を理解する）用語や出来事を暗記するだけでなく、それらのつながりにも関心を持ちましょう。また、毎日、ニュースや新聞に目を通して、時事問題に関心を持ちましょう。
-------	--

評価の仕方	・小テストや定期考査において、授業で学習した基礎的事項の理解度を評価します。 ・授業態度やノート、ワークシート、資料プリントの活用状況を点検し評価します。 ・長期休業中のレポートなどのように、資料を収集・活用する技能や、考察することで得られる結論等を表現する能力を評価します。また、資料を基に、思考・判断する能力を小テストや定期考査の問題等で評価します。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断・表現 ③ 資料活用の技能 ④ 知識・理解 ⑤ なし （評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。）
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ	学年	第1学年	類型	共通
単位数	3・2・1単位	教科書	「改訂版 数学Ⅰ」「改訂版 数学A」「改訂版 数学Ⅱ」(数研出版)				
副教材	問題集「改訂版 サクシード数学Ⅰ+A」(数研出版) 参考書「NEW ACTION LEGEND 数学Ⅰ+A, 数学Ⅱ+B」(東京書籍)						

学習目標	数学Ⅰと数学Aの学習を通して、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識する。 (3学期は数学Ⅱを学習する。)
------	---

		学習計画及び内容		評価の観点					定期考査
				①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	数学Ⅰ 第1章 数と式	・数を拡張する意義や集合と命題に関する基本的な概念を理解する。一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	◎			○		第1回
	5月	□							
	6月	数学Ⅰ 第2章 2次関数□	・2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。			○	◎		
	7月	数学A							
2 学 期	8月	第1章 場合の数と確率	・図表示や具体的な事象の考察から、場合の数及び確率について理解し、事象を数学的に考察し処理できるようにする。	◎			○		第2回
	9月	数学A							
	10月	第3章 図形の性質	・平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、事象の考察に活用できるようにする。		○	◎			
	11月	数学Ⅰ 第3章 図形と計量□	・三角比の意味やその基本的な性質について理解し、具体的な事象の考察に活用できるようにする。	◎			○		
	12月	数学A 第2章 整数の性質□	・整数の性質についての理解を深め、事象の考察に活用できるようにする。		◎	○			
3 学 期	1月	数学Ⅱ 第1章 いろいろな式□	・等式や不等式の証明についての理解を深め、論理的な思考力を養い、命題などの考察に生かすことができるようにする。			◎	○		第4回
	2月		・数の範囲を複素数に拡張して2次方程式を解くことや因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。	○		◎			
	3月	数学Ⅱ 第2章 図形と方程式	・さまざまな平面図形の諸性質や関係を、方程式や不等式を用いて数学的に処理することを学ぶ。		○		◎		

学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での教科書の予習は欠かせません。予習で生じた疑問点を授業で解決し、復習します。 ・授業では、教科書と並行して、問題集(サクシード)の「重要例題」「問題B」「発展」を解きます。どうしても解けないときは、参考書(NEW ACTION LEGEND)を調べる、友人と研究し合う、先生に聞くなどして、必ず自力で解けるようにします。 ・家庭学習を計画的に毎日実行する習慣を身に付け、根気強く学習することが大切です。
------	---

評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査に加え、週末課題やノートの提出、小テストの成績などを総合的に評価します。 ・平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、解答の板書状況などを総合的に評価します。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 数学的な見方や考え方 ③ 数学的な技能 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	学年	第1学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	改訂版 化学基礎 (数研出版)				
副教材	ニューステージ新化学図表 (浜島書店) セミナー化学基礎+化学 (第一学習社)						

学習目標	1 化学的なものの見方や考え方を身に付ける。 2 実験、観察を通して科学的に探究する能力を身に付ける。 3 進歩する現代の化学の素晴らしさや面白さを化学の学習を通して理解する。
------	--

		学習計画及び内容	評価の観点					定期考査		
			①	②	③	④	⑤			
1 学 期	4月	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成	◎	○				第1回		
	5月	第2章 物質の構成粒子		◎		○				
	6月	第3章 粒子の結合								
	7月					○	◎			
2 学 期	8月	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式						第2回		
	9月					○	○		◎	
	10月	第2章 酸と塩基の反応						第3回		
	11月					○	○		◎	○
12月										
3 学 期	1月	第3章 酸化還元反応						第4回		
	2月					○	○		◎	○
	3月									

学習方法	<p>毎日の授業を大切に、授業を通して科学的な見方や考え方ができるように自分の学習目標を設定して努力することが大切です。化学式や化学反応式を単に暗記するのではなく、なぜそうなるのか理由を考え、系統立てて学習していくことが大切です。</p> <p>科学的に探究する力や態度を育てるためには、実験や観察を積極的に行うことが大切です。短時間で構いませんから予習を確実に、自分が何をするのか理解してから臨みましょう。</p>
------	--

評価の仕方	<p>定期考査に加え、授業中に行う小テストや提出物(実験ノートなど)を総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や実験への参加姿勢も含めて総合的に評価します。</p>
-------	---

評価の観点	<p>① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断・表現 ③ 観察・実験の技能 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)</p>
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年	第1学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)				
副教材	図説 現代高等保健 (大修館書店)						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的な実践を通して、運動能力を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに自身の体の調子を整え、体力の向上を図る力を養う。 ・公正・協力・責任などの社会的態度を育て、生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営む資質や能力を育てる。
------	--

	学習計画及び内容			評価の観点					定期考査
				①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・東高体操や集団走を正確に身につける。 ・体ほぐしの運動や体力を高める運動を通し、その方法を学習する。 ・テニス、ソフトボール、バレーボール、バドミントンの中から選択し活動する。 ・安全に留意する態度を養うとともに自らの体力に応じて学習する。 ・社会の変化とスポーツについて学習する。 ・運動会集団演技の練習を行う中で、体力を高め、集団の中での協調性を養う。 	◎	◎	◎	○		
	5月	球技選択Ⅰ		◎	◎	◎	○		
	6月			◎	◎	◎	○		
	7月	体育理論 体づくり運動・ダンス		◎	○	○	◎		
2 学 期	8月	体づくり運動・ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会集団演技の練習を行う中で、体力を高め、集団の中での協調性を養う。 ・テニス、ソフトボール、バレーボール、バドミントンの中から選択し活動する。 ・テニス、サッカー、バスケットボール、バドミントンの中から選択し活動する。 ・社会の変化とスポーツについて学習する。 	◎	◎	◎	○		
	9月			◎	◎	◎	○		
	10月	球技選択Ⅰ		◎	◎	◎	○		
	11月	球技選択Ⅱ		◎	◎	◎	○		
12月	体育理論	◎	○	○	◎				
3 学 期	1月	体づくり運動・持久走	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わう。 ・テニス、サッカー、バスケットボール、バドミントンの中から選択し活動する。 ・社会の変化とスポーツについて学習する。 	◎	◎	◎	○		
	2月	球技選択Ⅱ		◎	◎	◎	○		
	3月	体育理論		◎	○	○	◎		

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の「東高体操」や「集団走」などみんなで一生懸命に授業に取り組むことを大切に授業を行っていきます。東高生として、授業へ取り組む真面目な姿勢が大切です。 ・運動技能の基礎基本を確実に学習し、仲間とともに体を動かす楽しさと喜びを味わい、自らの体力に応じて、自分の可能性に挑戦していきます。
-------	---

評価の仕方	各種目や内容について、運動技能だけでなく、授業に対する意欲や運動やスポーツへの関心、一生懸命に頑張る態度など総合的に評価します。
-------	--

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断 ③ 運動の技能 ④ 知識・理解 (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	保健体育	科目	保健	学年	第1学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)				
副教材	図説 現代高等保健(大修館書店)						

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
------	--

		学習計画及び内容	評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	交通事故の現状と要因	◎	○	◎			第1回考査
	5月	交通社会における運転者の資質と責任	◎	○	◎			
		安全な交通社会づくり	◎	○	◎			
	6月	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法(実習)	◎	○	◎			
	7月	日常的な応急手当	◎	○	◎			
2 学 期	8月	私たちの健康のすがた	◎	○	◎			第3回考査
	9月	健康のとらえ方	◎	○	◎			
		健康と意志決定・行動選択	◎	○	◎			
	10月	健康に関する環境づくり	◎	○	◎			
		生活習慣病とその予防	◎	○	◎			
	11月	食事と健康	◎	○	◎			
	12月	運動と健康	◎	○	◎			
		休養・睡眠と健康	◎	○	◎			
		喫煙と健康 飲酒と健康	◎	○	◎			
		薬物乱用と健康	◎	○	◎			
3 学 期	1月	現代の感染症	◎	○	◎			第4回考査
		感染症の予防	◎	○	◎			
		性感染症・エイズとその予防	◎	○	◎			
	2月	欲求と適応機制	◎	○	◎			
	心身の相関とストレス	◎	○	◎				
	3月	ストレスへの対処	◎	○	◎			
		心の健康と自己実現	◎	○	◎			

学習の方法	教科書と副教材を中心に授業を行います。授業の中でそれぞれの内容に即して設定した学習課題を自らの手で調べてその発表を行い、さらに理解を深めていきます。 また、学習した内容を単に暗記に留めるに終わらず、日常生活の中での実践力につなげて、自らが課題解決できる力を養っていきます。
-------	---

評価の方	定期考査に加え、課題学習の発表の内容や提出物の成績などを総合的に評価します。 また、平常の取組についても評価の対象とします。保健に関する知識理解及び興味関心の程度、日常生活における健康・安全に対する思考力や実践力などを総合的に判断します。
------	--

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断 ③ 知識・理解 (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	音楽 I	学年	第 1 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)				
副教材							

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
------	--

	学 習 計 画 及 び 内 容			評価の観点					定期考査
				①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	1 校歌を歌おう	・松山東高校校歌	◎					単元ごとに課題を評価します。
	5月	2 声の世界	・イタリア歌曲 (カモミオペン, オツレ・ミ)	○	◎	◎			
	6月		・ドイツの歌 (野ばら)	○	○				
	7月		・サザエさん ・夢みたものは……	○	○	◎	◎		
2 学 期	8月	3 器楽の世界	・ウクレレによる伴奏練習	◎				○	単元ごとに課題を評価します。
	9月			○	○	◎			
	10月			・リコーダーアンサンブル	○	○	○		
	11月		・和楽器	○		◎			
	12月	4 オペラ	・カルメン	◎				◎	
12月	5 合唱	・荒野の果てに ・Oh Happy Day	○	○	○				
3 学 期	1月	5 合唱	・あなたに ・空より高く ・揚げば尊し	○	◎	○			単元ごとに課題を評価します。
	2月	6 演奏会		○	◎	○			
	3月		・講座内演奏会の準備、練習と発表	◎	◎	○	○		

学習の方法	<p>様々な様式、形態の曲を歌ったり、演奏する中で、音楽感の幅を広げ、表現する力を育てましょう。また、音楽理論等音楽の仕組みや歴史について学んだり、我が国の伝統的な楽器に触れることで日本音楽の楽しみを知ってもらいたいと思います。</p> <p>なお、夏期休業中には鑑賞に関するレポートを宿題としています。自主的に様々な音楽を鑑賞しておきましょう。</p>
-------	---

評価の仕方	<p>定期考査は実施しません。演奏点と平常の取組（提出物・忘れ物・授業態度・意欲等）、夏期休業中の課題の内容を総合的に評価します。</p> <p>各学期末、年3回の評価です。</p>
-------	---

評価の観点	<p>① 関心・意欲・態度 ② 芸術的な感受や表現の工夫 ③ 創造的な表現の技能 ④ 鑑賞の能力 ⑤ なし（評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。）</p>
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	学年	第 1 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)				
副教材							

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------	--

	学 習 計 画 及 び 内 容	評価の観点				定期考査
		①	②	③	④	
1 学 期	4月 オリエンテーション 身近なものを描く (絵画) ・観察の方法と鉛筆デッサンを学ぶ。	○		◎		単元ごとに 作品を評価 します。
	5月 色彩の基礎、配色の魅力 (デザイン) ・平面構成を通して色彩の基本を学び、アクリルガッシュの使い方を理解する。	○	○	◎	○	
	6月 ポスターで伝える(デザイン、鑑賞) ・文字の工夫とポスターについて学ぶ。	○			◎	
	7月 アニメーションの技法 (映像メディア表現) ・アニメーションの原理を学び、グループで企画、制作する。	○	◎	○		
2 学 期	8月 夏休み課題 ・人権ポスター		◎	◎	○	単元ごとに 作品を評価 します。
	9月					
	10月 人物を描く (絵画、鑑賞) ・自画像を通して自分を見つめ、心情を捉えて表現する。 ・絵画の表現方法を学び、メディウムなどの画材を活用し、自分の表現を追求して描く。	○	○	◎	◎	
	11月					
12月 暮らしの中の「使う」デザイン (鑑賞) ・使用されるものとしてのデザインについて学び、機能と形について考える。	○			◎		
3 学 期	1月 ペーパーウエイト (デザイン、彫刻) ・鋳造の技法を学び、金属の鋳造によるペーパーウエイトの制作をする。 ・使用するために必要な機能や安全性を考慮して、デザインする。	○	◎	◎		単元ごとに 作品を評価 します。
	2月					
	3月 イラストレーションの魅力 (デザイン) ・人物の特徴を捉え、誇張したり省略をして表現する。	○	◎	◎	○	

学習の方法	美術 I の授業は実技中心です。楽しく活動しつつも、めりはりをつけて制作に集中しましょう。制作の技術だけでなく、言葉や文字での表現活動も大切にしてください。日頃から、自分が「何を好ましいと感じるのか」、そして「それはなぜなのか」考えるようにしましょう。自分を知ることが深い表現活動に繋がります。
-------	---

評価の仕方	ペーパーテストは実施していません。作品点と平常の取組(提出物、授業態度など)を総合的に評価します。また、技術的な巧さだけに評価が偏らないよう、個々の成長の過程や度合いを大切にしています。各学期末、年 3 回の評価です。1 つの課題の配点が大きいので未完成にならないように注意しましょう。
-------	---

評価の観点	① 美術への関心・意欲・態度 ② 発想や構想の能力 ③ 創造的な技能 ④ 鑑賞の能力 (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	書道 I	学年	第 1 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	新編 書道 I (教育出版)				
副教材							

学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
------	---

		学 習 計 画 及 び 内 容	評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	1 書の世界へようこそ	◎			○		単元ごとに課題作品を評価します。
	5月	2 漢字の書の学習 (1) 楷書の学習	○			◎		
			○		◎	○		
			○					
6月	(2) 篆刻の学習	◎			○			
7月		◎	◎					
2 学 期	8月	(3) 行書の学習	○		◎			単元ごとに課題作品を評価します。
	9月		○		○	◎		
			○			◎		
			◎		○			
			○		◎	○		
	10月	3 漢字仮名交じりの書の学習	○		◎	○		
11月	◎		◎					
12月		◎	◎					
3 学 期	1月	4 仮名の書の学習	○	◎				単元ごとに課題作品を評価します。
	2月		○			◎		
			○			◎		
			◎	○				
			○		◎	○		
3月		○		◎	○			
			◎	○				

学習の方法	最初は臨書活動が中心になりますが、表現活動を高めるためには欠かせない学習です。目的を認識して授業に取り組んでください。また制作に必要な道具や材料は事前に指示しますので忘れ物の無いように準備しましょう。創作活動を豊かに展開するために、自然の美を感じる生活を送ってください。そしてその美しさを作品に表現できる喜びや楽しさを学びましょう。書は心を表す芸術です。
-------	---

評価の仕方	定期考査は実施いたしません。作品点と平常の取り組み（提出物・忘れ物・授業態度・意欲等）を総合的に評価いたします。 各学期末、年3回の評価です。
-------	--

評価の観点	① 書への関心・意欲・態度の能力 ② 書表現の構想と工夫 ③ 創造的な書表現の技能 ④ 鑑賞の能力 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	--

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語 I	学年	第1学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	Revised ELEMENT English Communication I (啓林館)				
副教材	総合英語 Evergreen (桐原書店)						

到達度目標	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・与えられた状況に応じて、間違いを恐れずに英語で伝えることができる。 ・英語音声の特徴を理解しながら、大きな声で音読することができる。 	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書くことができる。 ・さまざまな話題について、自分の考えを明らかにして50語程度のまとまりのある英文を書くことができる。 ・英文の内容をKey Wordsを用いて再構築したり、自分の言葉を使って要約したりすることができる。
	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ・本文に関する説明やキーワードなどを聞いて、概要を理解することができる。 ・英語音声の特徴を理解し、音連結を踏まえて英文を聞くことができる。 	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたり、聞き手に伝わるように音読することができる。 ・未知語を推測し、文脈から内容を推測することができる。 ・与えられた英文に関する質問に対して、根拠を探し出し、適切に答えることができる。

	単元	主な単元の目標	評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学期	4月	L. 1	・かい枝さんが英語落語を始めた経緯を理解する。	○	◎	◎	○	第1回
	5月		・かい枝さんが英語落語を通して学んだことを理解する。	○	◎	◎	○	
	6月	L. 2	・ジェーンとエースがクリスチャンと暮らし始めた経緯を理解する。	○	◎	◎	○	
			・クリスチャンが野生に戻るようになった経緯を理解する。	○	◎	◎	○	
7月	L. 3	・アシモフが未来を予言した内容について理解する。	○	◎	◎	○	第2回	
8月 9月	L. 4	・クラークが未来を予言した内容について理解する。	○	◎	◎	○		
		・世界の科学者たちが未来を予言した内容について理解する。。	○	◎	◎	○		
2 学期	10月	L. 5	・山口さんが最初の被爆をした経緯を理解する。	○	◎	◎	○	第3回
	11月		・山口さんが自らの経験を語った方法と理由について理解する。	○	◎	◎	○	
	12月	L. 6	・うま味とはどのようなものかを理解する。	○	◎	◎	○	
			・うま味の研究について理解する。	○	◎	◎	○	
3 学期	1月	L. 7	・うま味が健康にどのような影響を及ぼすかを理解する。	○	◎	◎	○	第4回
	2月		・プレイポンプの計画について理解する。	○	◎	◎	○	
	3月		・プレイポンプがなぜ失敗したのかを理解する。	○	◎	◎	○	
3 学期	L. 8	L. 9	・プレイポンプの失敗から学ぶことを理解する。	○	◎	◎	○	第4回
			・バイオミメティクスはどのような学問かを理解する。	○	◎	◎	○	
			・バイオミメティクスが活用された例について理解する。	○	◎	◎	○	
3 学期	L. 9	L. 10	・2020年東京オリンピック招致のプレゼンテーションの制作過程について理解する。	○	◎	◎	○	第4回
			・3人のプレゼンテーションの内容について理解する。	○	◎	◎	○	
3 学期	L. 10	L. 10	・ポプシーの夢はどんなものであったかを理解する。	○	◎	◎	○	第4回
			・ポプシーの母親、ポプ、消防士たちの行動について理解する。	○	◎	◎	○	
3 学期	L. 10	L. 10	・南アフリカの黒人と白人が親密になるためにマンデラが取った行動について理解する。	○	◎	◎	○	第4回
			・ラグビーワールドカップによって南アフリカの人々の気持ちが変わったかについて理解する。	○	◎	◎	○	

主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマについて、下を向かず堂々と英語で話す。 ・本文の内容に関する英問に英語で答える。 ・キーワードを使って本文の要約を相手に口頭で伝える。
------	--

評価	<ul style="list-style-type: none"> a ペアワーク、グループワークへの参加状況や取組 b ワークシート、予習プリントなどの課題への取組 c 音読テスト、口頭テストなどのインタビューテスト d 単元テスト、単語テストなどの小テスト
----	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 表現能力 ③ 理解能力 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	外国語	科目	英語表現I	学年	第1学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	CROWN English Expression I NEW EDITION(三省堂)				
副教材	総合英語 Evergreen (桐原書店)						

到達度目標	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた状況に応じて、間違えを恐れずに英語で伝えることができる。 英語音声の特徴を理解しながら、大きな声で音読することができる。 	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな話題について、自分の考えを明らかにして50語程度のまとまりのある英文を書くことができる。 英文の内容をKey Wordsを用いて再構築したり、自分の言葉を使って要約したりすることができる。 	
	聞くこと	X		読むこと	X

	単元	主な単元の目標	評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学期	4月 L.1	自分の高校を紹介することに積極的に取り組むことができる。	○	◎	◎	○		第1回
		自分の高校の特徴について話すことができる。	○	◎	◎	○		
	5月 L.2	時制を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		
		自分の好きなスポーツ選手を紹介することに積極的に取り組むことができる。	○	◎	◎	○		
	6月 L.2	自分の好きなスポーツ選手について話すことができる。	○	◎	◎	○		
		助動詞を理解して適切な英文を書くことができる。	○	◎	◎	○		
7月 L.3	日本の事物を紹介することに積極的に取り組むことできる。	○	◎	◎	○		第2回	
	日本の事物について話すことができる。	○	◎	◎	○			
	受動態を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○			
2 学期	8月 L.4	環境保護のやり方を紹介することに積極的に取り組むことができる。	○	◎	◎	○		第2回
		環境保護のやり方について話すことができる。	○	◎	◎	○		
		不定詞を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		
	10月 L.5	世界遺産を紹介することに積極的に取り組むことができる。	○	◎	◎	○		第3回
		世界遺産について話すことができる。	○	◎	◎	○		
	11月 L.6	動名詞を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		
		日本人に関するステレオタイプを紹介することに積極的に取り組むことができる。	○	◎	◎	○		
12月 L.7	太陽系の惑星について説明することができる。	○	◎	◎	○			
	比較を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○			
3 学期	1月 L.8	日本の建築物について話すことができる。	○	◎	◎	○		第4回
		関係代名詞を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		
	2月 L.9	社会で重要な役割を果たしている科学技術について話すことができる。	○	◎	◎	○		
		仮定法を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		
	3月 L.10	2つの対照的な物事の優劣を論じることができる。	○	◎	◎	○		
		接続詞を理解して適切な英語を書くことができる。	○	◎	◎	○		

主な活動	<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマについて、下を向かず堂々と英語で話す。 本文の内容に関する英問に英語で答える。 キーワードを使って本文の要約を相手に口頭で伝える。
------	---

評価	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク、グループワークへの参加状況や取組 ワークシート、予習プリントなどの課題への取組 音読テスト、口頭テストなどのインタビューテスト 単元テスト、単語テストなどの小テスト
----	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 表現能力 ③ 理解能力 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第1学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	家庭基礎 明日の生活を築く (開隆堂)				
副教材	家庭科ノート、調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編) 2019最新 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表 (第一学習社)						

学習目標	<p>家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てることを目標とします。</p>
------	---

	学 習 計 画 及 び 内 容	評価の観点					定期考査
		①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月 導入、オリエンテーション	・学習内容・方法・評価を理解する。	◎			○	第1回
	5月 第1部 第1章 青年期の自立と 家族・家庭	・家族・家庭の意義を理解し、家族の一員としての意識を持つ。	○	◎		○	
	6月 第3章 高齢期の生活	・高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について理解し、高齢者を支える家族や地域社会の役割について考える。	○	○	○	◎	
	7月 第4章 共生社会における地域や家族	・くらしを支える福祉のあり方を理解する。	○	○		◎	
2 学 期	7月 第2部 第2章 着る	・被服の機能と着装、管理の知識と技術を習得し、健康で快適な衣生活を理解する。	○	○	◎	○	第3回
	8月 第1章 食べる	・栄養、食品、調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得し、健康で安全な食生活について理解する。	○	○	◎	○	
	9月	・食にかかわる情報を適切に判断し、実生活に生かす態度を身につける。	○	◎		○	
	10月 第4章 消費者市民として生きる	・家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得し、消費者としての自覚を持つ。	○	◎		○	
3 学 期	11月	・現代の消費生活と環境のかかわりを理解し、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や生活様式を見直す。	◎	○		○	第4回
	12月						
	1月 第3章 住まう	・住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識を習得し、健康で快適な住生活について理解する。	○	○	◎	○	
3 学 期	2月 第1部 第2章 子どもの発達と保育	・子どもの発達、保育、福祉を通して、健全な発達を支える親や社会の役割を理解するとともに保育への関心を深める。	○	○	○	◎	第4回
	3月 生涯の生活設計	・将来の生活への目標を立て、目指すライフスタイル実現のための生活を設計する。	○	◎		○	

学習の方法	<p>・ワークシート、実習ノート、資料集等を用いて授業を行います。実験・実習を活用し、実際の生活で実践できるように、生活との関わりを意識しながら進めていきます。講義や実習、グループ活動等に意欲的に取り組み、授業内容を参考にしながら、生活の中での問題点を発見し、自分で解決できる能力を身につけていきましょう。</p>
-------	---

評価の仕方	<p>・ワークシート、実習ノート、ホームプロジェクト等長期休業中の課題、授業態度等の平常の評価を含め、実習及び定期考査の成績を多面的に評価します。 ・授業への取り組み状況(授業態度・実習態度・学習活動への参加状況など)、課題の内容・提出状況、定期考査などから総合的に評価します。</p>
-------	---

評価の観点	<p>① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断・表現 ③ 技能 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)</p>
-------	---

2019年度 松山東高等学校シラバス

教科	情報	科目	情報の科学	学年	第1学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	最新情報の科学 新訂版(実教出版)				
副教材	最新情報の科学 新訂版 学習ノート(実教出版) 30時間でマスター Windows10対応 Office2016(実教出版)						

学習目標	1 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。 2 情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。
------	---

	学習計画及び内容		評価の観点					定期考査
			①	②	③	④	⑤	
1 学 期	4月	序章 情報社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> データ・メディア・情報関係、情報の特徴について学ぶ。 情報化による利便性と危険性について学ぶ。 匿名性の特徴、情報の受信者・発信者のモラルと責任について学ぶ。 アナログとデジタルの違い、デジタル化の変換方法と特徴について学ぶ。 2進数、10進数、16進数の関係を学び、相互変換できるようにする。 数値、文字、音、画像の表現とデータの圧縮と効果率について学ぶ。 CPU内部の構成について学び、CPUの動作とコンピュータ内部の計算の仕組みを学ぶ。 	○			◎	第1回
	5月	第1章 情報とコンピュータ						
	6月	1節 情報の表し方						
	7月	2節 コンピュータでのデジタル表現						
2 学 期	8月	第2章 ネットワークの仕組みと情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークとその構成について学ぶ。 プロトコルの階層化と各階層の役割、IPアドレス、ドメイン名、DNS、WWWと電子メールの仕組みについて学ぶ。 情報システムの定義を理解し、身近な情報システムや、情報の流れ、個人情報の扱いを学ぶ。 問題解決の定義と手順について学ぶ。 ブレインストーミングとKJ法、表計算ソフトを活用した問題解決手段を学ぶ。 アルゴリズムとプログラミング、モデル化とシミュレーション、データベースと情報検索などの問題解決のための手段を学ぶ。 モデル化の概念や手順について学ぶ。 			○	◎	第3回
	9月	1節 ネットワークの仕組み						
	10月	2節 情報システムと情報セキュリティ						
	11月	第3章 問題解決のためのコンピュータ活用						
3 学 期	12月	1節 問題解決			○	◎		第3回
	12月	2節 アルゴリズム						
	12月	3節 モデル化とシミュレーション						
	1月	第4章 ネットワークとデータベースの活用	<ul style="list-style-type: none"> 検索サイトを用いて、効率よく情報を収集する方法を学ぶ。 ネットワークを利用した情報の共有方法と注意点について学ぶ。 情報を収集、整理・分析、発表・発信し評価と改善を行う方法を学ぶ。 データベースの概念や機能について学ぶ。 社会を支える情報技術について学ぶ。 知的財産権、産業財産権とその保護について学ぶ。 情報格差やテクノストレス、ネット依存などについて学び、解消法を考える。 			○	◎	
2月	1節 ネットワークの活用							
2月	2節 データベース							
3月	第5章 情報技術と社会							
3月	1節 情報化による生活の変化				◎	○		
3月	2節 情報技術による社会の発展							

学習方法	授業では、コンピュータ実習を中心に進めていきます。表計算ソフトを使用した情報の収集・整理(グラフ化)・分析、プレゼンテーションソフトを使用した情報の統合・発信の方法について個人で学習します。さらに、発表・評価をし、情報の活用法を完成させていきます。 年2回の定期考査で、著作権・セキュリティなど、2進法・16進法を使った情報のデジタル化など、教科書の全範囲の学習を進め、副教材とともに定着させていきます。
------	---

評価の仕方	実習の内容・態度等と定期考査の成績を総合的に評価します。
-------	------------------------------

評価の観点	① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断・表現 ③ 技能 ④ 知識・理解 ⑤ なし (評価欄の数字は上記の評価の観点に対応しており、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。)
-------	---